



造影CT検査説明

CTとは、人体の輪切り画像をコンピュータによって再構成する装置です。CTは、全身を短時間で撮影でき、細かい間隔で画像を作成することができるため、ごく小さい病変も描出可能です。また、造影剤を使用すると、血管や組織などを、より鮮明に描出することが可能です。

造影CT検査の場合、造影剤は静脈注射で注入します。造影剤は、尿と一緒に体外へ排出されます。検査前後に、水分制限が無い方は、コップ1～2杯程度の水分（お水・お茶）をおとりください。

検査にかかる時間は、造影CTでは約15分です。

- 検査が 午前 の方は、朝食を食べずにお越しください。
検査が 午後 の方は、昼食を食べずにお越しください。
※食事をした場合、食後3時間は検査ができません。
- 服用中のお薬は、お飲みになってかまいません。ただし、糖尿病薬については、検査の48時間前～検査後48時間は服用できない薬もございますので、紹介医にご相談ください。
- 造影CT検査を受ける方で、水分制限が無い場合は、検査前に水を飲んでください。
- 検査内容によっては、検査の順番が前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 妊娠している可能性のある方は、紹介医にご相談ください。
- ペースメーカーもしくは埋め込み型除細動器を挿入されている方は、検査時に調整が必要な場合がありますので、あらかじめ申し出てください。また、検査当日は機種名が記載された手帳（ペースメーカー手帳、ICD手帳等）をご持参ください。
※CT検査不可：InSync・セラシリーズ（セラDR-i）（セラD-i）（セラS-i）（セラSR-i）（セラVDO-i）
- 検査予定日の1週間前から胃・大腸のバリウム検査は受けないでください。
授乳中の方は、造影剤の母乳中への移行が報告されていますので、検査後、最低24時間は授乳を控えてください。
- 服装は、金属の付いた服や下着、アクセサリーは外していただくことがあります。また、場合によっては検査着に着かえていただく場合がございます。
- 予約制ですので、指定された日時以外は検査できません。やむを得ず来院できない場合は、放射線診断科までご連絡ください。